

授業改善プラン

特別支援学級 教科（ 職業 ）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

観 点	1・2 学期		3 学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
関心意欲態度	日常生活や自分の将来に関連付けた課題設定を行ったことで、授業で実践した内容を日常生活でも実践する姿が見られた。	今後も日常生活に関連付けた課題設定をしていく。授業で学んだ内容を日常生活でも実践する機会を作る。	日常生活に関連付けた課題設定をし、学期を通して同じ課題を繰り返し学習させた。
創意工夫	見本となる動きの映像を視聴し、自分なりの工夫をするとともに、友人へ助言して、互いに高め合う姿が見られた。	友人に対し助言し合う場面を設定し、よりよい内容に工夫できるようにする。	教師からの一方向の講義では集中が続かないため、作業や対話の場面を効果的に起こった。
生活の技能	日常生活に直結した技能の習得を身に付けるとともに、場の雰囲気に応じた行動がとれるようになった。	授業内容を日常生活と関連付けた内容とし、授業で身に付けた技能を実際の生活で生かせるようにする。	授業で身に付けた技能を学校生活で実践している場面では積極的に評価するように担任が共通理解して指導に当たった。
知識理解	技能習得に必要な用語は、理解できている。	必要な技能に応じて、用語や道具の名前を確実に定着させていく。	習得する知識を精選し、技能習得に必要な知識のみとした。知識の定着を確認する手立てが必要だった。
授業改善の検証方法	授業の観察 授業後の自己評価	授業後の自己評価を行う。	授業後の教師による自己評価や生徒による授業評価を改善に生かしていく。

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2 学期までの 成果と課題	1 年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	小学校から使っている道具をより丁寧に正確に使えるようにする。	高等部までを見通して、より丁寧に正確にできるよう意識が高まった。	ゆっくりでも丁寧に正確にできることを意識させることができた。

授業改善プラン

特別支援学級 教科（ 社会 ）

【目的】
 ○生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
 ○生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1・2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
社会的事象への 関心・意欲・態度	歴史上の人物や出来事への関心は高いが、込み入った内容になると集中が続かない。	映像資料や地図資料、関係図を精選してできるだけ多く提示する。	身近な話題から学習内容へつなげ、映像や地図、官益図などを効果的に使用する。
社会的な 思考・判断・表現	歴史的な出来事について、単純な順序や関連性について理解している。	できるだけ単純化した内容に精選して、歴史事象をとらえられるようにする。	学習内容を精選し、歴史・地理・公民の生活に直結する内容を基礎基本から学習する。
資料活用の技能	地図資料や関係図を使って出来事の関連について口頭での簡単な内容の説明ができる程度である。	クラスメイトに説明する際に、資料を用いて説明する場面を設定する。	学習内容の難易度に合わせた資料を用意し、資料から必要な情報を読み取りやすいよう準備する。
社会的事象についての 知識・理解	社会的事象について、授業で理解できても、知識の蓄積をしていくことが難しい。	場面や内容を工夫し、繰り返し学習していく。	対話を通じて授業内容を繰り返し確認していく。
授業改善の検証方法	定期考査での理解度のチェック、授業の自己評価	授業後の自己評価をする。	授業の自己評価や生徒による評価から授業改善を進める。

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2学期までの 成果と課題	1年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	小学校の既習事項について繰り返し確認していく。	義務教育期間で必要な内容を精選して授業を進めていく。	社会の内容を精選し、予定した学習内容の範囲を終えることができた